

# 松戸市子育て世帯生活実態調査結果

## 平成30年3月

### 1 調査の概要

- **調査目的** 本市における子育て世帯の生活実態（健康、経済的な状況、教育、就労や住環境など）を把握し、支援策を検討するために実施したものである。
- **調査対象** 松戸市立小学校5年生の全児童（3,929人）及び保護者  
松戸市立中学校2年生の全生徒（3,740人）及び保護者
- **調査期間** 平成29年9月1日～平成29年9月15日
- **調査方法** 各学校から児童・生徒に調査票を配付し、自宅にて記入後、学校にて回収
- **有効回答数** 有効回答数（上段）および有効回答率（下段）の通り

	子ども票	保護者票	親子のマッチング ができた票	分析対象
小学5年生	3,603	3,605	3,405	<b>3,405</b>
	91.7%	91.8%	86.7%	<b>86.7%</b>
中学2年生	3,178	3,192	3,115	<b>3,115</b>
	85.0%	85.3%	83.3%	<b>83.3%</b>

- **集計方法** 本報告書においては、クロス表の掲載の際には、 $\chi^2$ 乗検定によって分布が統計的に有意であるかを検定している。その結果、1%水準で有意である場合は表頭などに「\*\*\*」、5%で有意の場合は「\*\*」、10%で有意の場合は「\*」、有意でない場合は「X」を付している。（「1%未満で有意」とは、図表で示している項目の間に統計的に差がない確率が1%未満であり、差があると言って問題がない、ということの意味する。）

### 2 結果の概要

- ✓ 松戸市の子どもの生活困難度について、「低所得」、「家計の状況」、「経済的理由による子どもの体験や所有物の不足」の3つの要素から分類したところ、何らかの支援が必要と考えられる生活困難層の割合は、**小学5年生で23.5%、中学2年生では25.1%**となり、**約4人に1人**の状況である。
- ✓ **ひとり親世帯**や**外国にルーツを持つ世帯**の生活困難層の割合が高い。
- ✓ 生活困難層の子どもは、**食事面、健康状態、体験活動や所有物の有無、学習状況、居場所やつながり、自己肯定感**など、さまざまな影響を受けている。
- ✓ 生活困難度が高いほど、保護者の健康状態が悪い、相談相手のいない保護者の割合が高い、支援制度の存在や利用方法がわからないために様々な支援の利用に至っていない傾向があるなど、**孤立している傾向がうかがえる**。

# 3

## 松戸市の子どもの生活困難の状況

### (1) 生活困難層の定義

本調査では、子どもの「生活困難」を3つの要素（①低所得、②家計の状況、③経済的理由による子どもの体験・所有物の不足）に基づいて分類しました。

#### ①低所得

等価世帯所得が厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯

<低所得基準>

世帯所得の中央値428万円÷√平均世帯人数（2.47人）×50%  
= 136.2万円

2人世帯の場合=192.6万円

4人世帯の場合=272.3万円

#### ③経済的理由による子どもの体験・所有物の不足

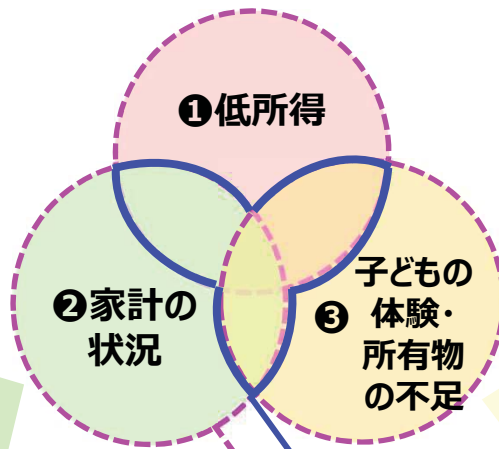
子どもの体験や所有物などに関する15項目のうち、経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上該当

- 1 海水浴に行く
- 2 博物館・科学館・美術館などに行く
- 3 キャンプやバーベキューに行く
- 4 スポーツ観戦や劇場に行く
- 5 遊園地やテーマパークに行く
- 6 毎月おごつかいを渡す
- 7 毎年新しい洋服・靴を買う
- 8 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる
- 9 学習塾に通わせる  
（又は家庭教師に来てもらう）
- 10 お誕生日のお祝いをする
- 11 1年に1回くらい家族旅行に行く
- 12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
- 13 子どもの年齢に合った本
- 14 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
- 15 子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所

#### ②家計の状況

経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣服を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上が該当

- 1 電話料金
- 2 電気料金
- 3 ガス料金
- 4 水道料金
- 5 家賃
- 6 家族が必要とする食料が買えなかった
- 7 家族が必要とする衣類が買えなかった

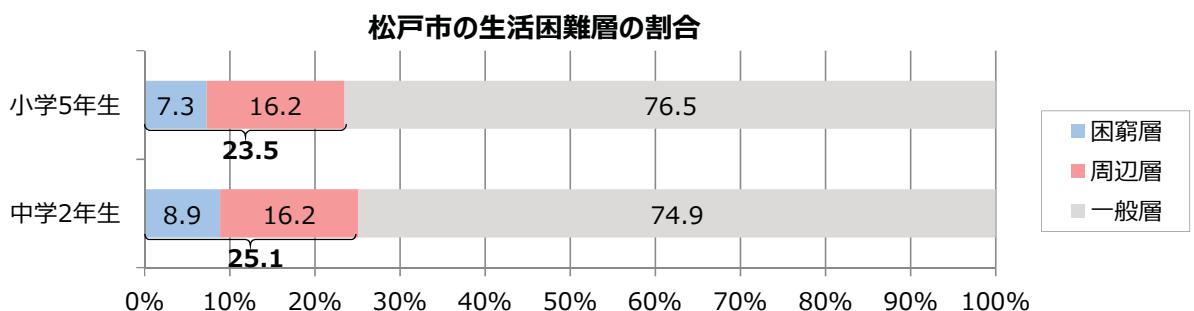


3つの要素のうち、2つ以上の要素に該当した場合を「困窮層」、いずれか1つの要素に該当した場合を「周辺層」とし、「困窮層」と「周辺層」を合わせて「生活困難層」と定義しています。

生活困難層	困窮層 + 周辺層
● 困窮層	2つ以上の要素に該当
● 周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない

### (2) 松戸市の生活困難層

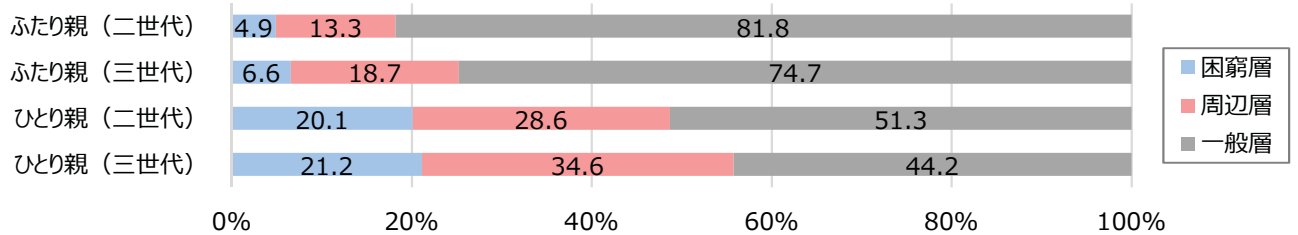
本市の困窮層は、小学5年生で7.3%、中学2年生で8.9%となっています。また周辺層を合わせた生活困難層の割合は、小学5年生で23.5%、中学2年生では25.1%となり、約4人に1人の状況となっています。



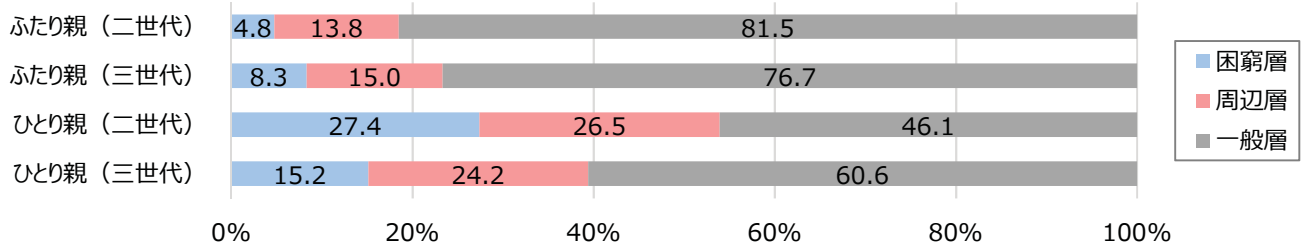
### (3) 世帯タイプ別の生活困難層の割合

ひとり親（二世帯）世帯に限ると、困窮層は、小学5年生で20.1%、中学2年生で27.4%となり、周辺層を合わせた生活困難層の割合は、小学5年生で48.7%、中学2年生で53.9%となっています。

松戸市の生活困難層（小学5年生）：世帯タイプ別（\*\*\*）



松戸市の生活困難層（中学2年生）：世帯タイプ別（\*\*\*）

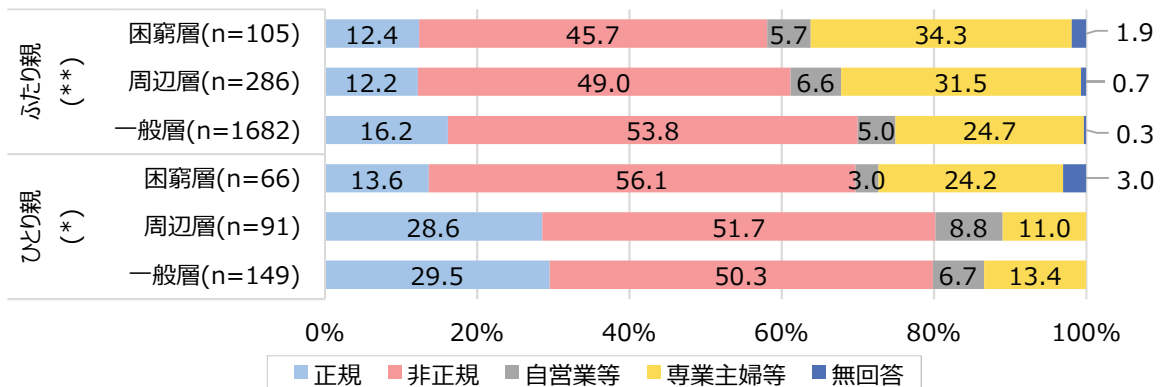


### (4) 母親の就労状況

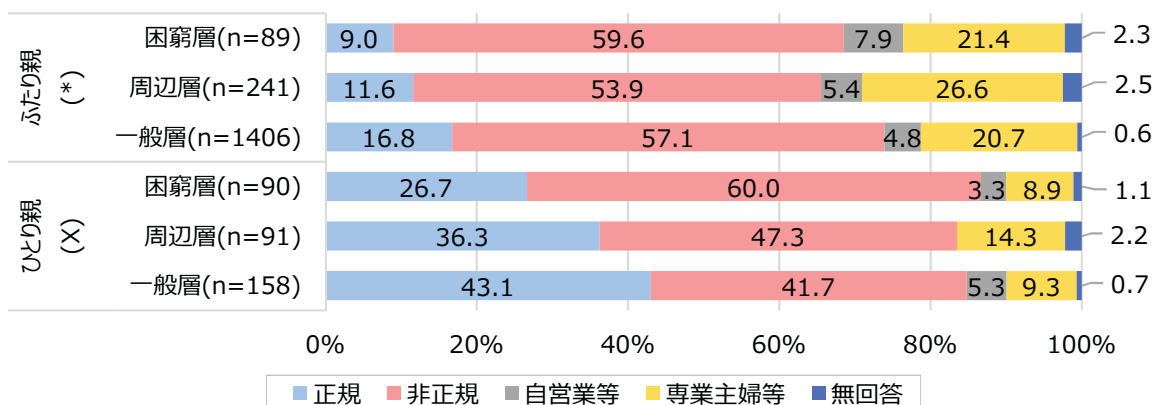
小学5年生の世帯では、ふたり親世帯は困窮層ほど母親の就労率は低くなる傾向がみられ、ひとり親世帯では困窮層ほど、母親の就労率、正規雇用の割合、ともに低くなる傾向がみられます。

中学2年生の世帯では、ふたり親世帯は困窮層ほど母親の正規雇用の割合が低くなる傾向がみられ、ひとり親世帯でも同様の傾向がみられます。

母親の就労状況（小学5年生）：世帯タイプ・生活困難度別



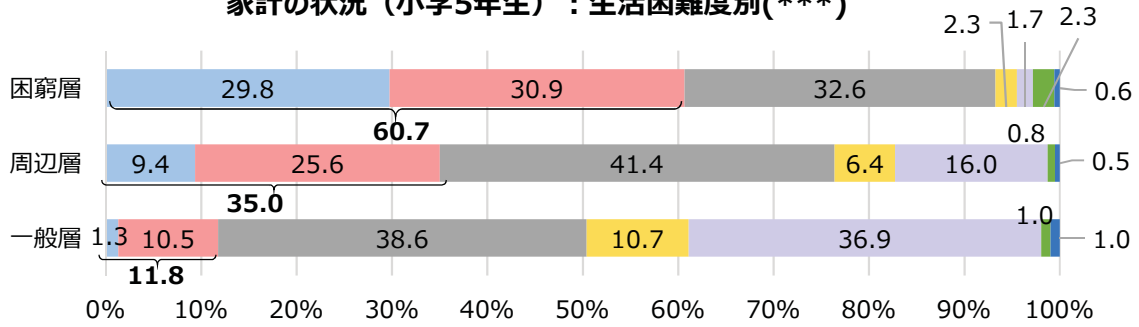
母親の就労状況（中学2年生）：世帯タイプ・生活困難度別



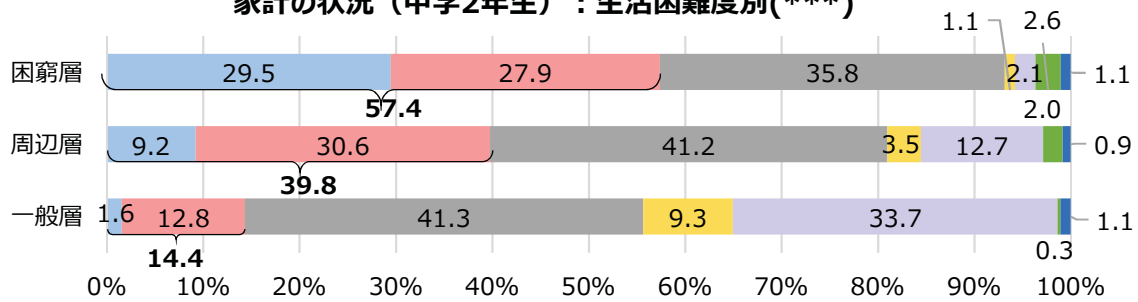
## (5) 家計の状況

生活困難度別に家計の状況を見ると、小学5年生の赤字世帯は、一般層が11.8%である一方、周辺層は35.0%、困窮層は60.7%となっています。中学2年生の赤字世帯は、一般層が14.4%である一方、周辺層は39.8%、困窮層は57.4%となっています。

家計の状況（小学5年生）：生活困難度別(\*\*\*)



家計の状況（中学2年生）：生活困難度別(\*\*\*)

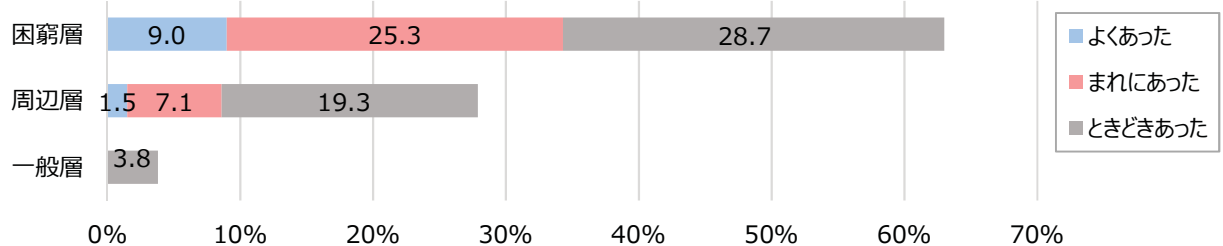


- 赤字であり、借金をして生活している
- 赤字であり、貯蓄を取り崩している
- 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである
- 黒字であるが、貯蓄はしていない
- 黒字であり、毎月貯蓄をしている
- その他
- 無回答

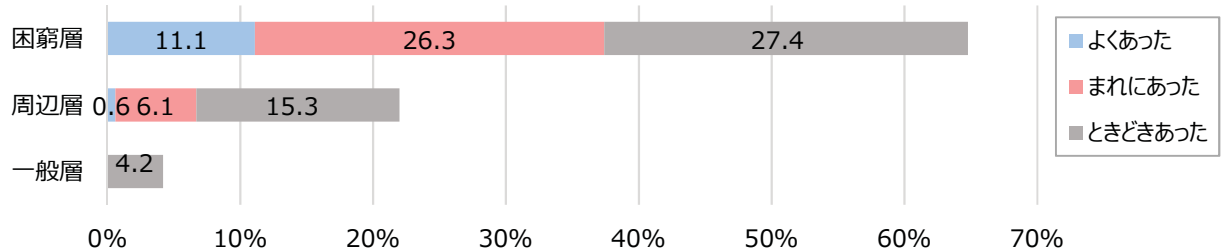
## (6) 食料を買えなかった経験

「あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。」という設問に対し、小学5年生、中学2年生ともに、困窮層の約10%が食料を買えなかった経験が「よくあった」と回答しています。

食料を買えなかった経験（小学5年生）：生活困難度別(\*\*\*)



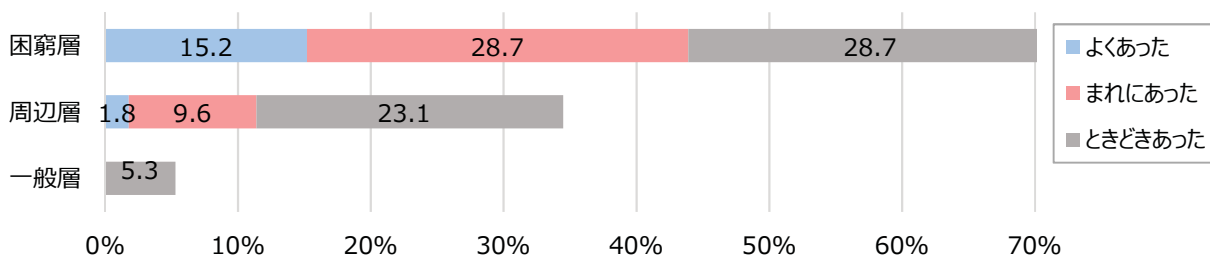
食料を買えなかった経験（中学2年生）：生活困難度別(\*\*\*)



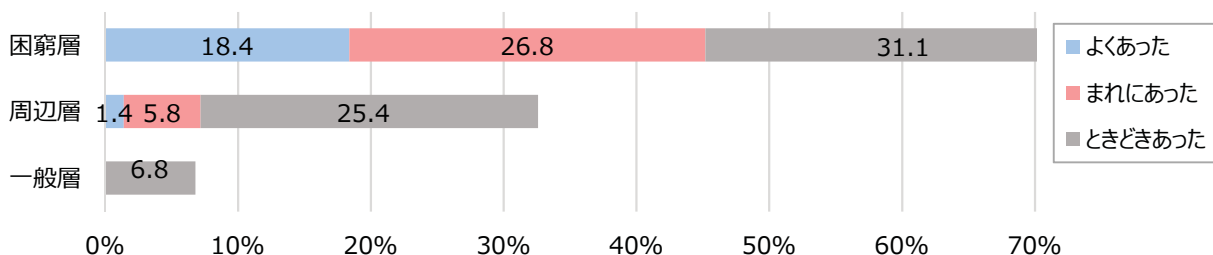
## (7) 衣類を買えなかった経験

「あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。」という設問に対し、小学5年生の困窮層では15.2%が、中学2年生の困窮層では18.4%が、衣類を買えなかった経験が「よくあった」と回答しています。

衣類を買えなかった経験（小学5年生）：生活困難度別（\*\*\*）



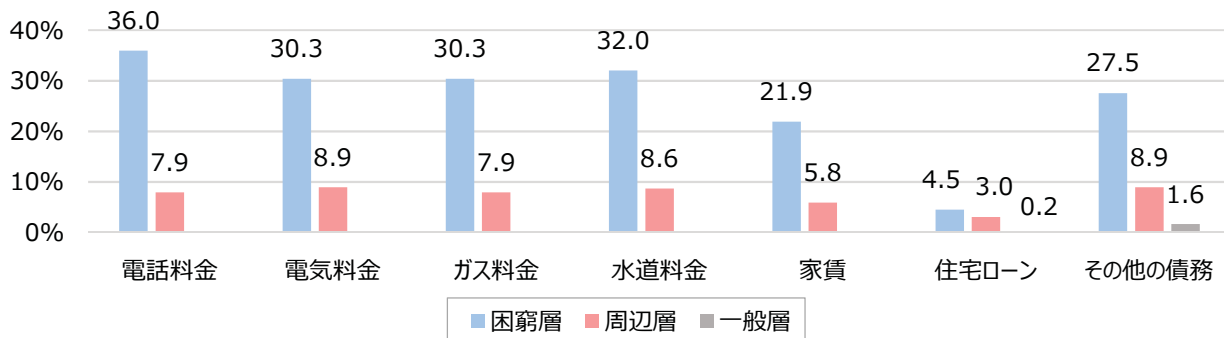
衣類を買えなかった経験（中学2年生）：生活困難度別（\*\*\*）



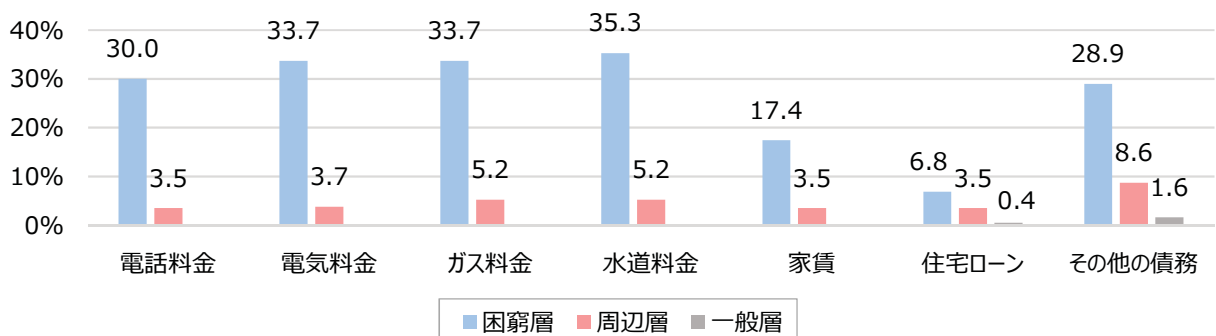
## (8) 公共料金等の滞納経験

「過去1年の間に、経済的な理由で、公共料金等について、支払えないことがありましたか。」という設問に対し、小学5年生の世帯では、困窮層の約30~40%、周辺層の約7~9%が、中学2年生の世帯では、困窮層の約30~40%、周辺層の約4~5%が、公共料金の滞納の経験が「あった」と回答しています。

公共料金等の滞納経験あり（小学5年生）：生活困難度別（すべて\*\*\*）



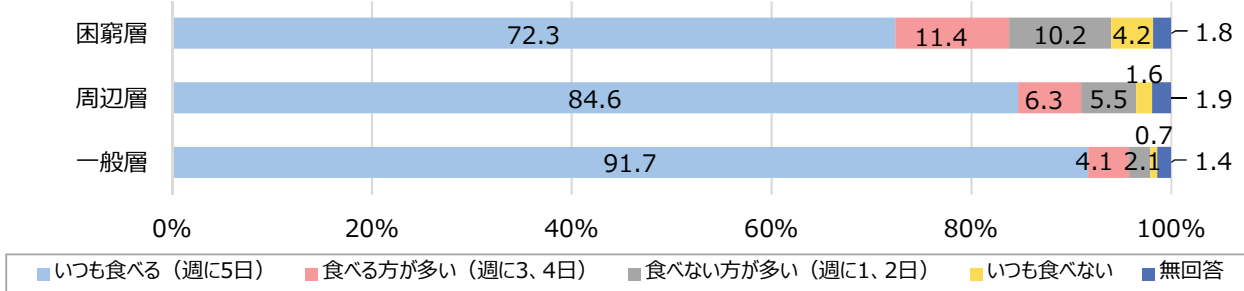
公共料金等の滞納経験あり（中学2年生）：生活困難度別（すべて\*\*\*）



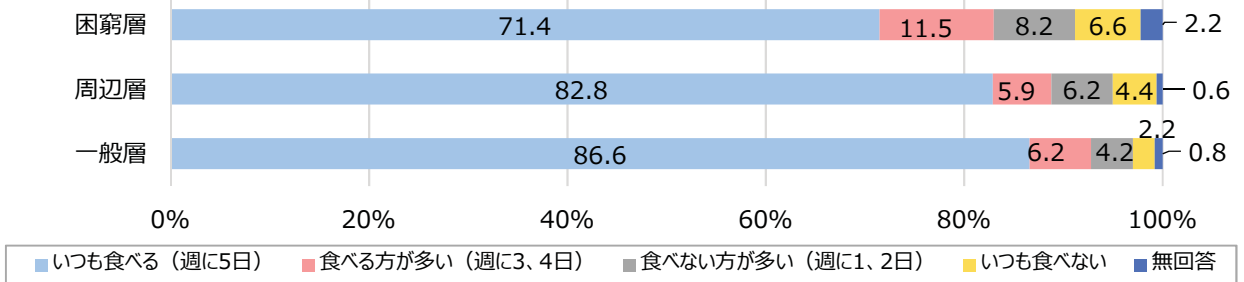
## (1) 子どもの食と栄養（朝食の摂取状況）

子どもの朝食の摂取状況について、生活困難度別にみると、困窮層や周辺層では、毎日朝食を食べないと回答した子どもの割合が高くなっており、小学5年生の困窮層では25.8%、中学2年生の困窮層では26.3%と、約4人に1人の子どもが朝食を毎日食べていないと回答しています。

朝食の摂取状況（小学5年生）：生活困難度別(\*\*\*)



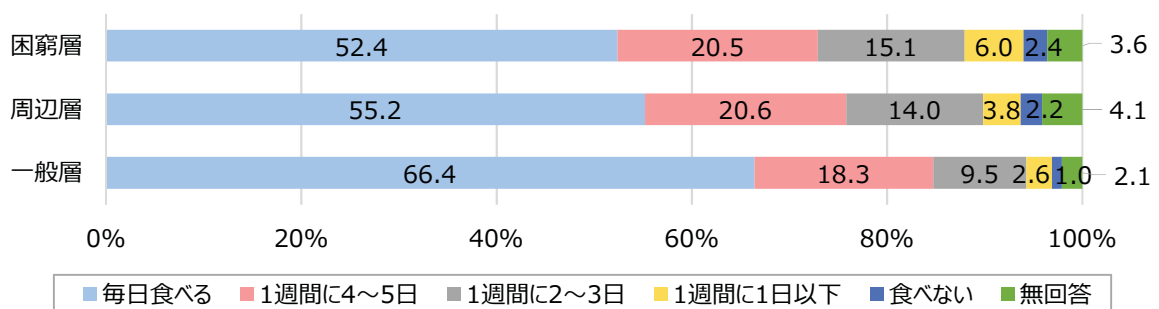
朝食の摂取状況（中学2年生）：生活困難度別(\*\*\*)



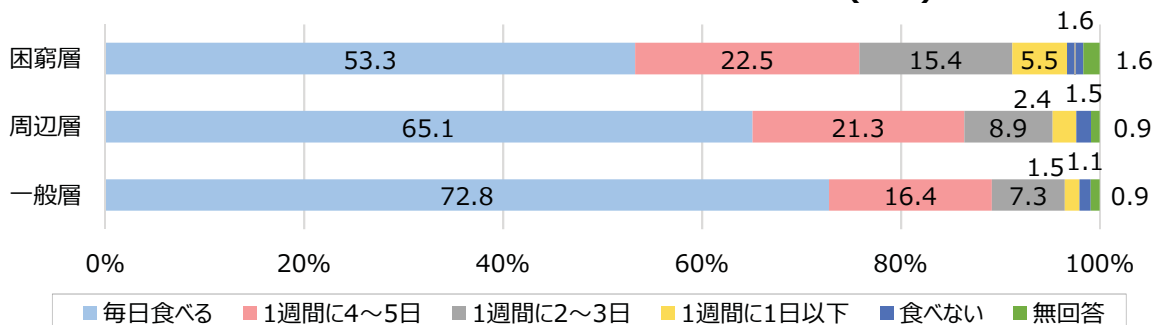
## (2) 子どもの食と栄養（野菜の摂取状況）

野菜の摂取状況について、生活困難度別にみると、小学5年生、中学2年生ともに、困窮層や周辺層において「毎日野菜を食べる」と回答した割合が低くなっています。

野菜の摂取状況（小学5年生）：生活困難度別(\*\*\*)



野菜の摂取状況（中学2年生）：生活困難度別(\*\*\*)



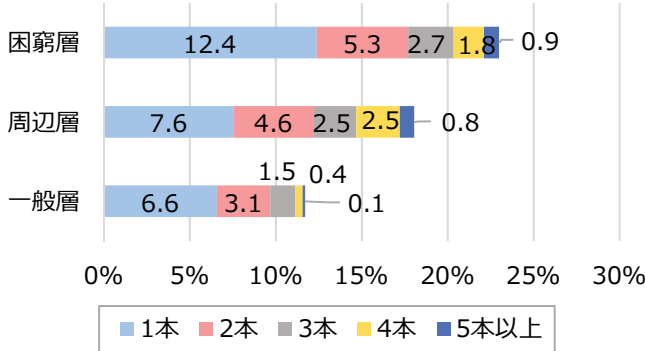


### (3) 健康の状態（虫歯の本数）

「今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。」という設問に対し、困窮層では、虫歯の本数が1本以上と回答した割合は、小学5年生では23.1%、中学2年生では27.6%となっています。

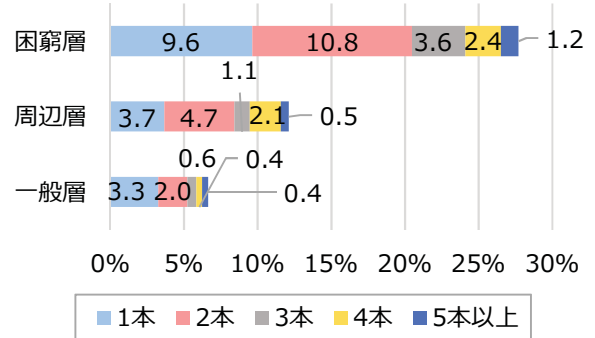
虫歯の本数（小学5年生）

：生活困難度別(\*\*\*)



虫歯の本数（中学2年生）

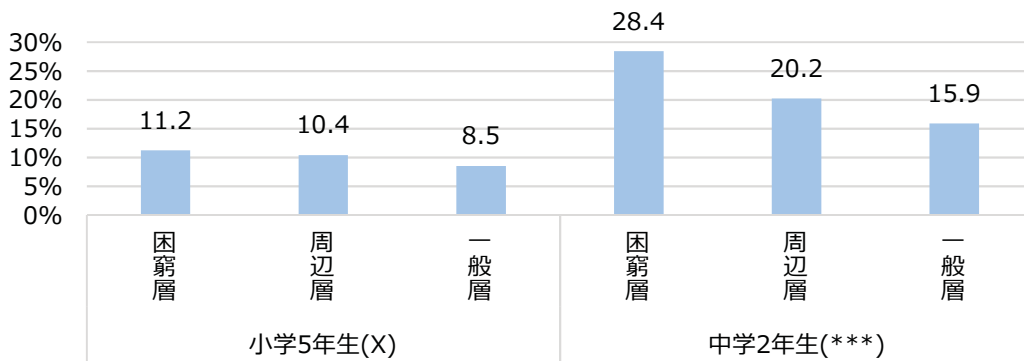
：生活困難度別(\*\*\*)



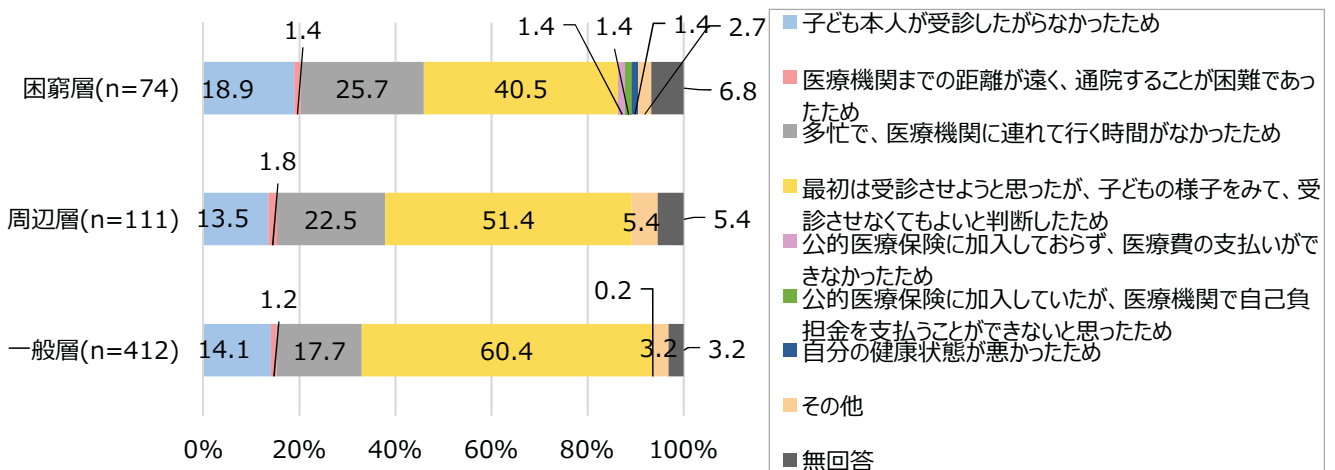
### (4) 医療機関での受診状況

「過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。」という設問に対し、「あった」と回答した割合が、中学2年生の世帯では、困難層で高い傾向となっています。またその理由として、困窮層では、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」と回答した割合が高い傾向にあります。

子どもを医療機関に受診させなかった経験あり：生活困難度別



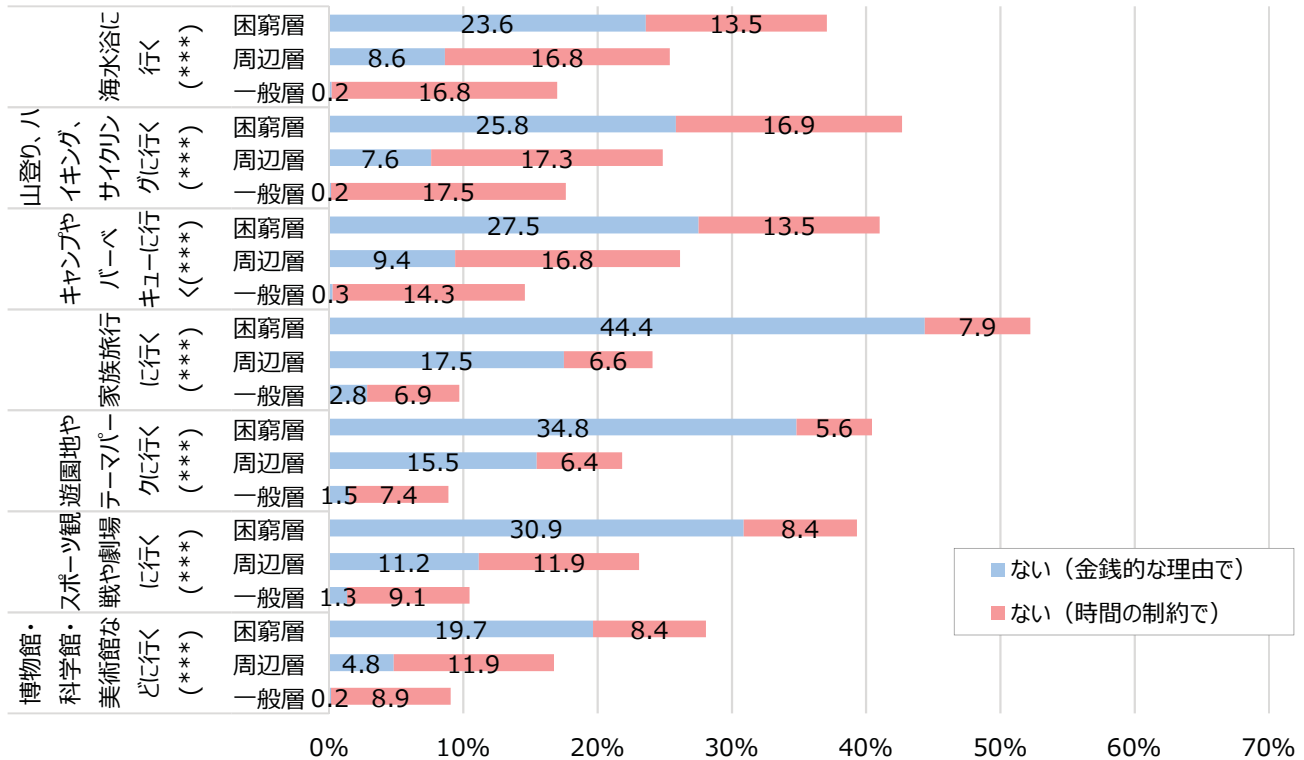
子どもを医療機関に受診させなかった理由（小学5年生、中学2年生合算）：生活困難度別（\*\*）



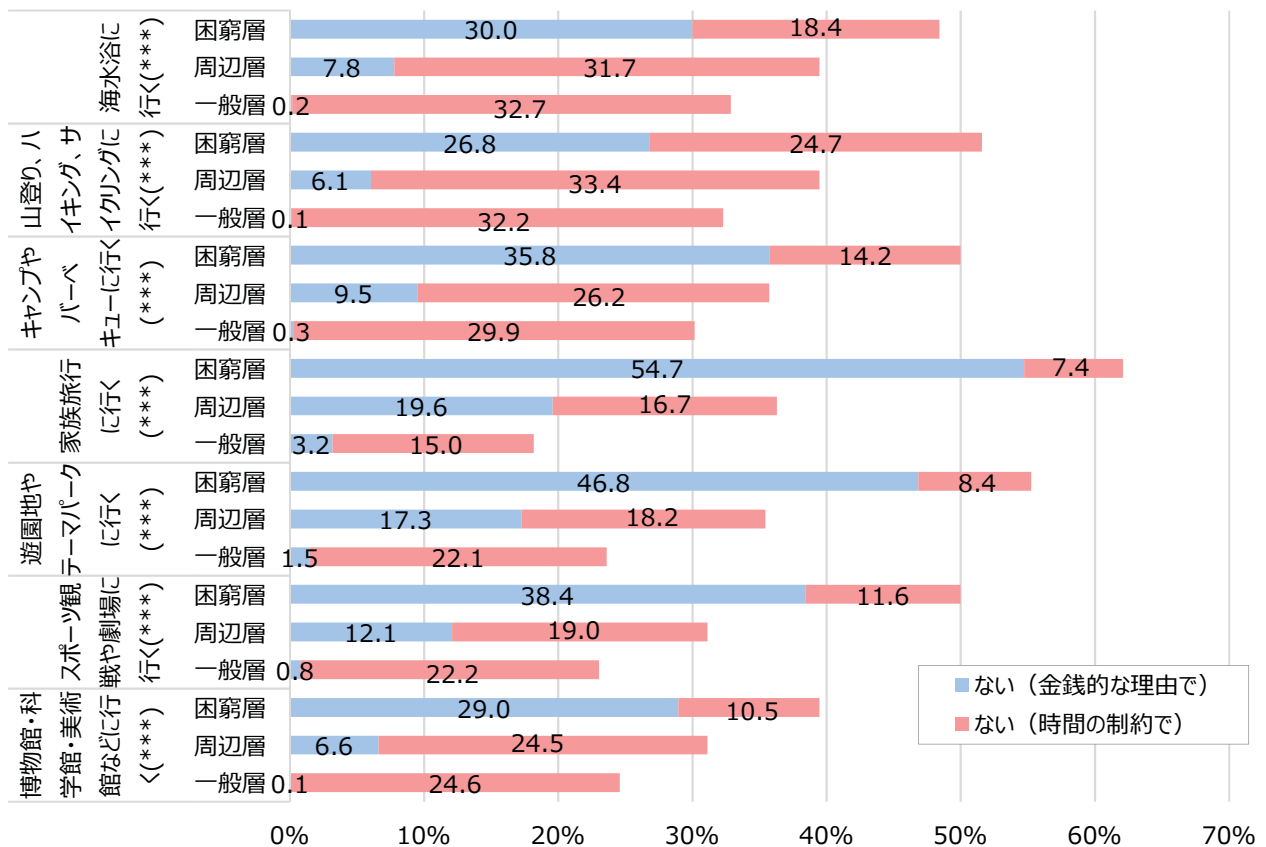
## (5) 子どもの体験

「過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。」という設問に対し、さまざまな体験において、「金銭的な理由でない」と答えている割合が、困窮層では高い傾向でした。またこの傾向は、小学5年生の世帯よりも、中学2年生の世帯の方が顕著でした。

子どもの体験（小学5年生）：生活困難度別



子どもの体験（中学2年生）：生活困難度別

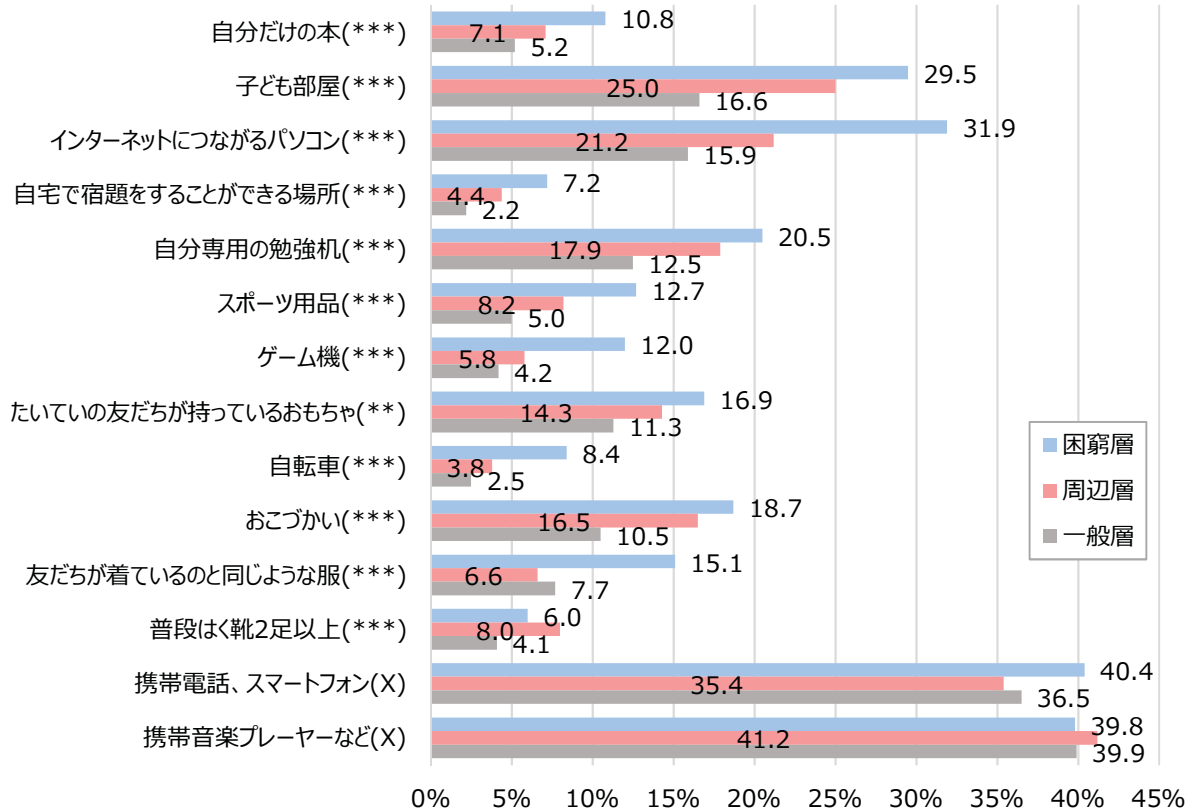




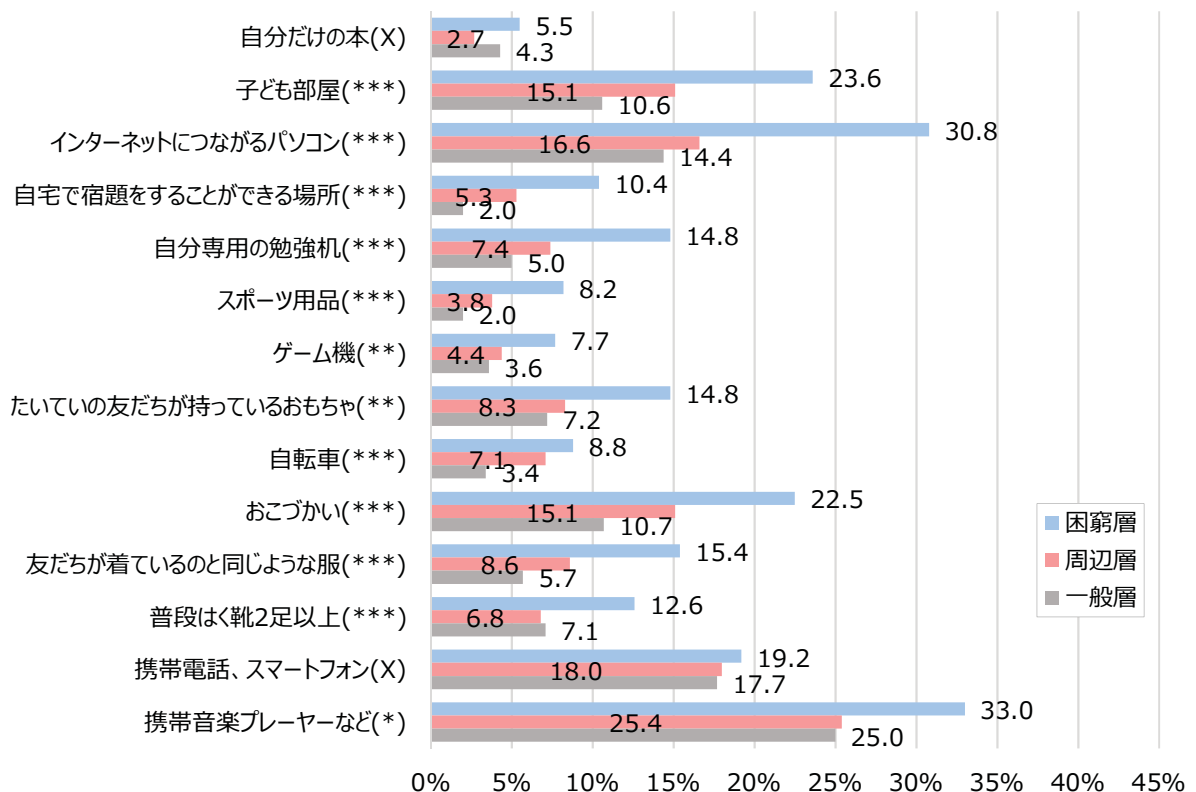
## (6) 子どもの所有物

子どもの所有物について、小学5年生、中学2年生ともに、困窮層では、「子ども部屋」、「インターネットにつながるパソコン」、「自宅で宿題をすることができる場所」、「自分専用の勉強机」、「スポーツ用品」などで、「ない（ほしい）」と回答した割合が高くなっています。

子どもの所有物（ない（ほしい）と回答した割合）（小学5年生）：生活困難度別



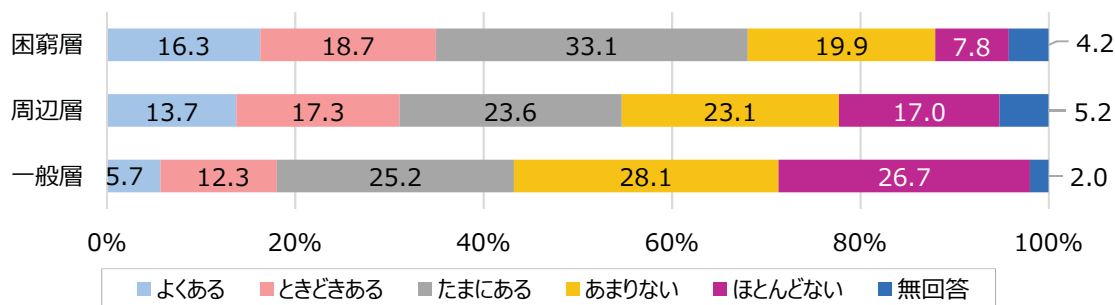
子どもの所有物（ない（ほしい）と回答した割合）（中学2年生）：生活困難度別



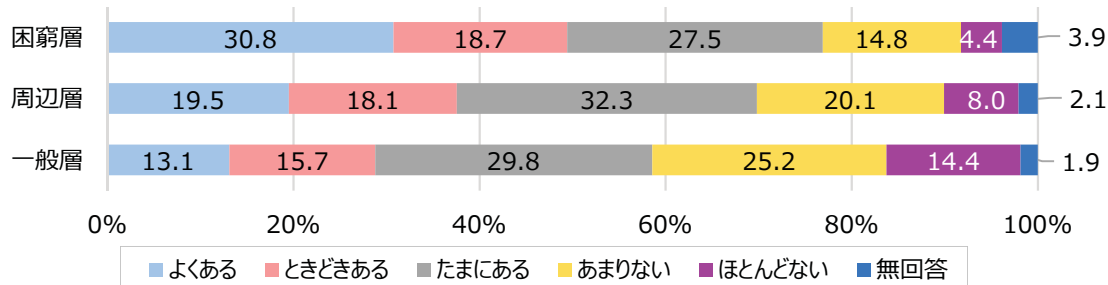
## (7) 学習状況（授業の理解度）

「あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。」という設問に対し、「よくある」、「ときどきある」と回答した子どもの割合は、小学5年生、中学2年生ともに、困窮層や周辺層で一般層よりも高い傾向にあります。

授業がわからない子どもの割合（小学5年生）：生活困難度別(\*\*\*)



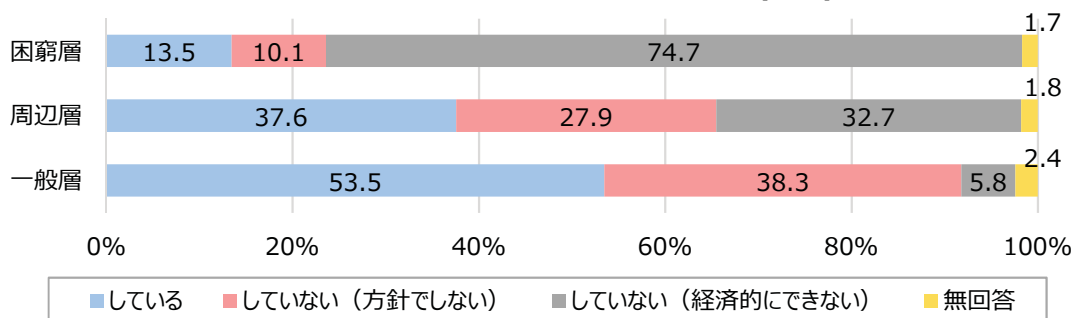
授業がわからない子どもの割合（中学2年生）：生活困難度別(\*\*\*)



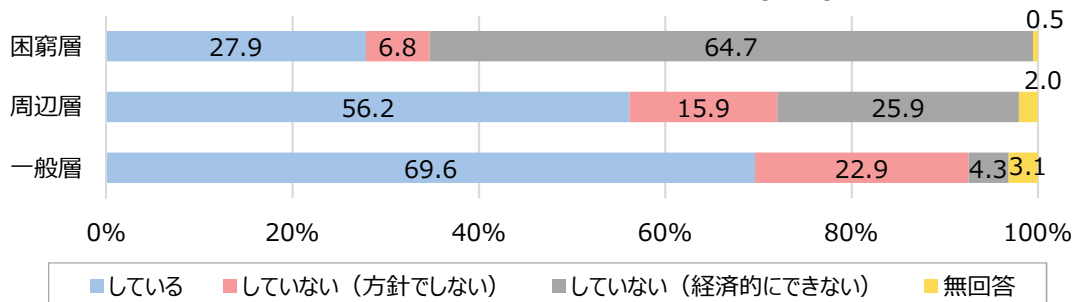
## (8) 学習状況（通塾の状況）

塾や家庭教師の利用状況について、生活困難度別にみると、小学5年生、中学2年生ともに、困窮層ほど、「通塾（または家庭教師を利用）している」と回答した割合が低く、「していない（経済的にできない）」と回答した割合が高い傾向にあります。

通塾の状況（小学5年生）：生活困難度別(\*\*\*)



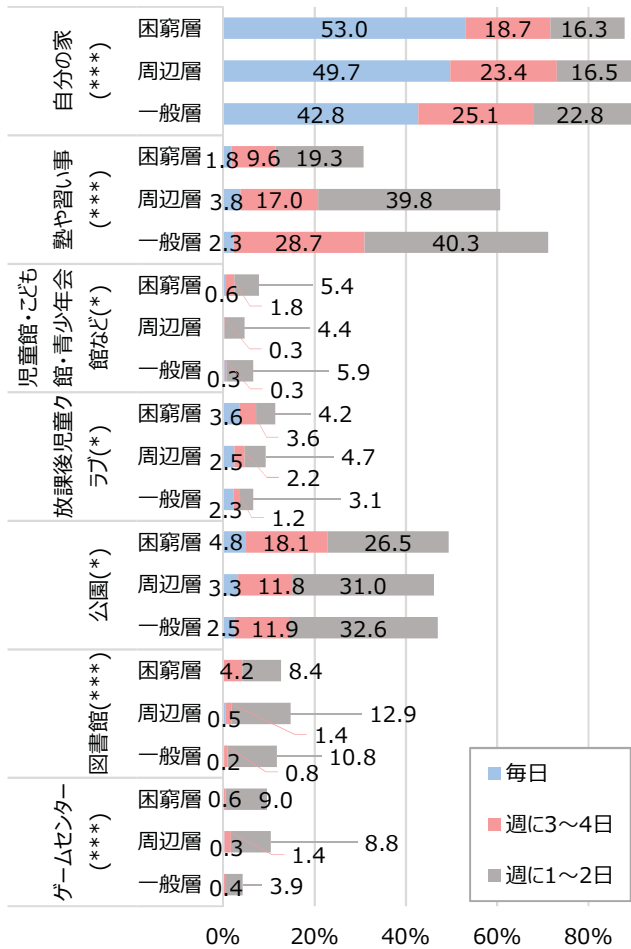
通塾の状況（中学2年生）：生活困難度別(\*\*\*)



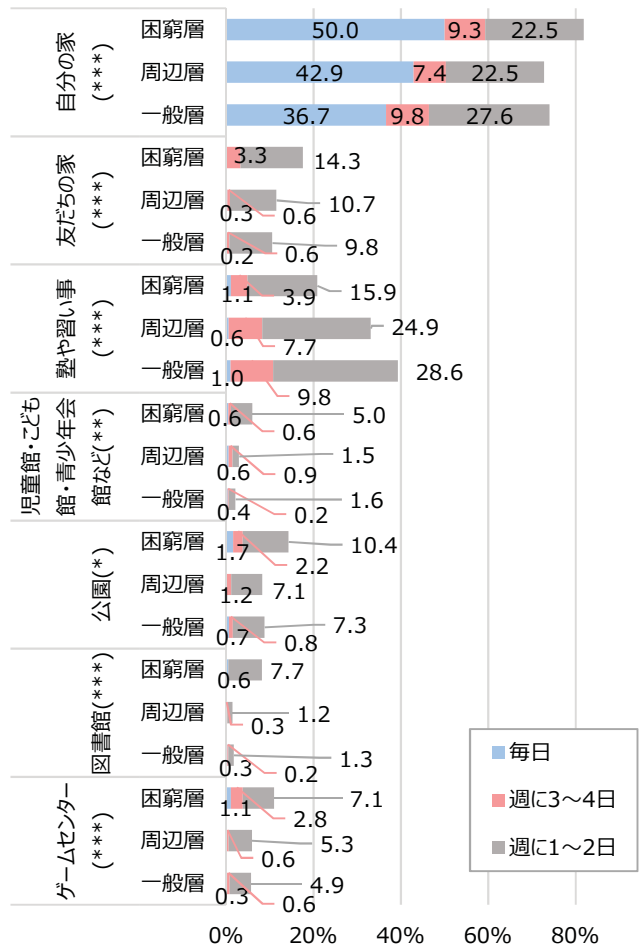
## (9) 放課後の過ごし方

「平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。」という設問に対し、生活困難度別にみると、困窮層、周辺層は、「塾や習い事」で過ごす頻度が一般層より低く、「自分の家」で過ごす頻度が高くなっています。

平日の放課後に過ごす場所(小学5年生)  
生活困難度別



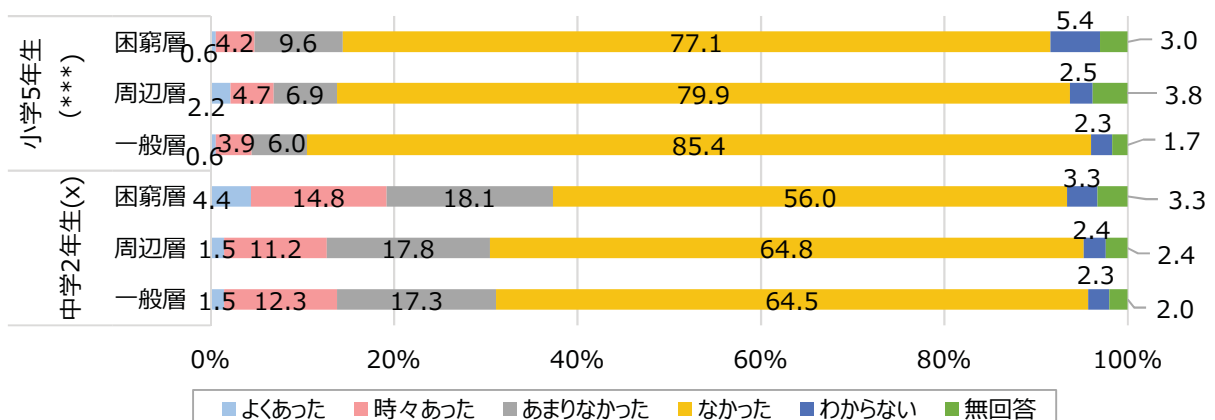
平日の放課後に過ごす場所(中学2年生)  
生活困難度別



## (10) 夜遅くまで子どもだけで過ごした経験

「これまでに、夜遅くまで子どもだけで過ごしたことがありますか。」という設問に対し、生活困難度別でみると、「よくあった」「時々あった」を合わせた回答割合は、小学5年生では周辺層、中学2年生では困窮層が高くなっています。

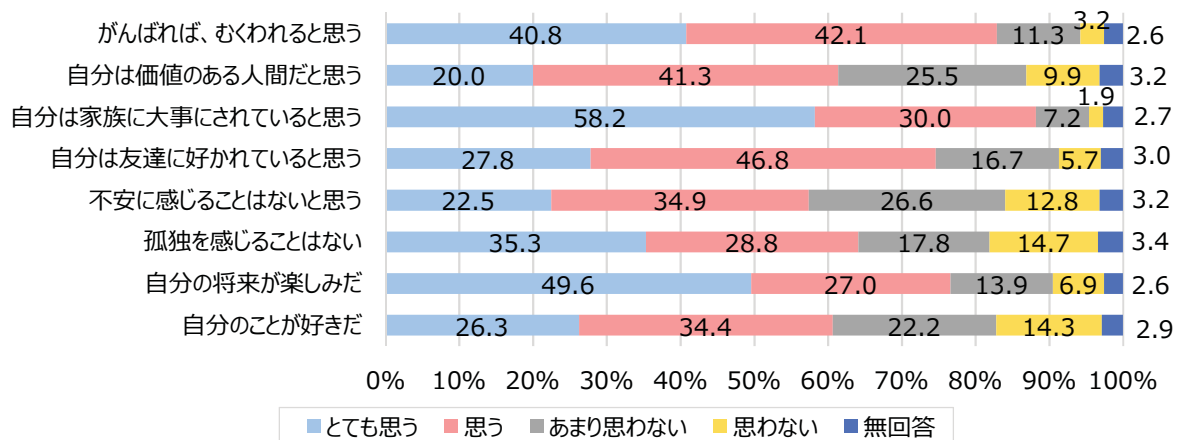
夜遅くまで子どもだけで過ごした経験（小学5年生、中学2年生）：生活困難度別



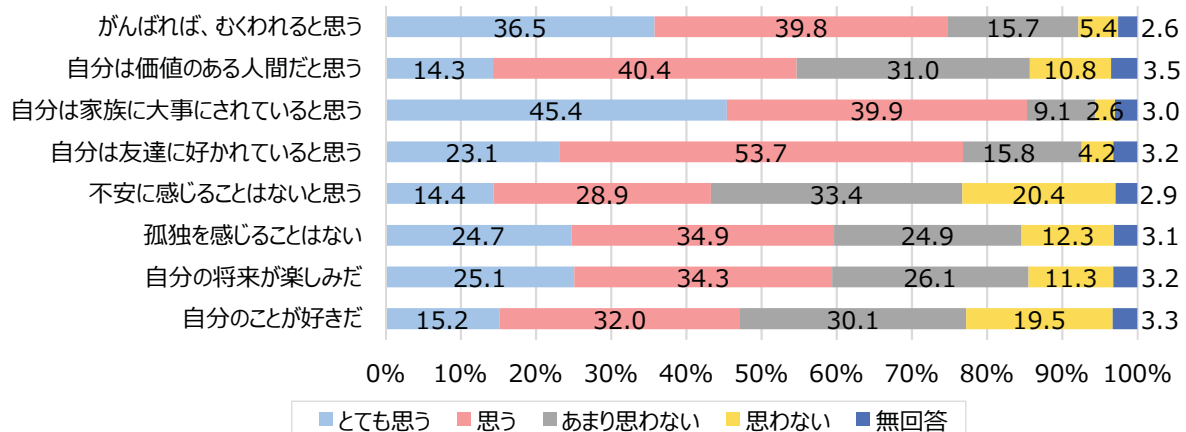
## (11) 自己肯定感

「自分は価値のある人間だと思う」という設問については、小学5年生、中学2年生いずれも、「とても思う」、「思う」と回答している割合は50%を超えているものの、約10%が「思わない」と回答しています。また、「自分の将来が楽しみだ」という設問に対しては、小学5年生の6.9%、中学2年生の11.3%が「思わない」と回答しています。

自己肯定感（小学5年生）

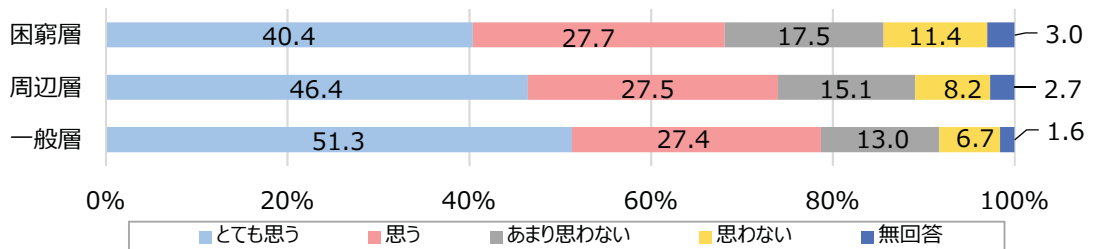


自己肯定感（中学2年生）

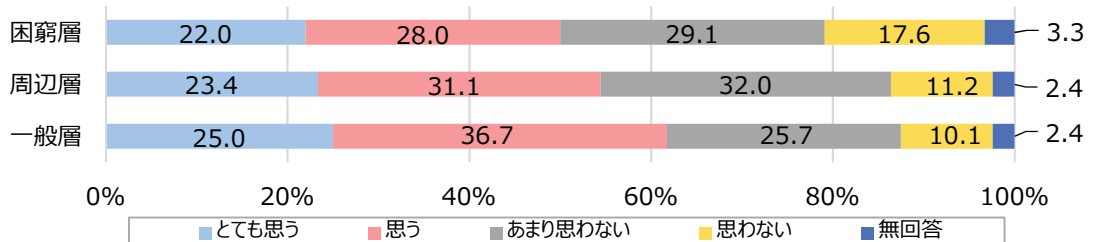


「自分の将来が楽しみだ」という設問について、生活困難度別にみると、「あまり思わない」、「思わない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層では28.9%、中学2年生の困窮層では46.7%と高くなっています。

自分の将来が楽しみだ（小学5年生）：生活困難度別（\*\*\*）



自分の将来が楽しみだ（中学2年生）：生活困難度別（\*\*\*）



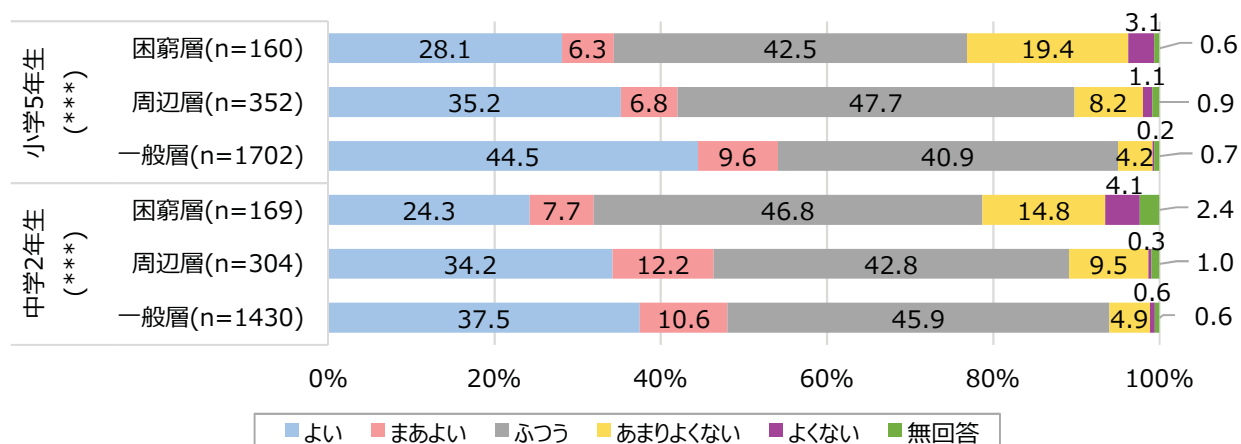
# 5

## 保護者の状況

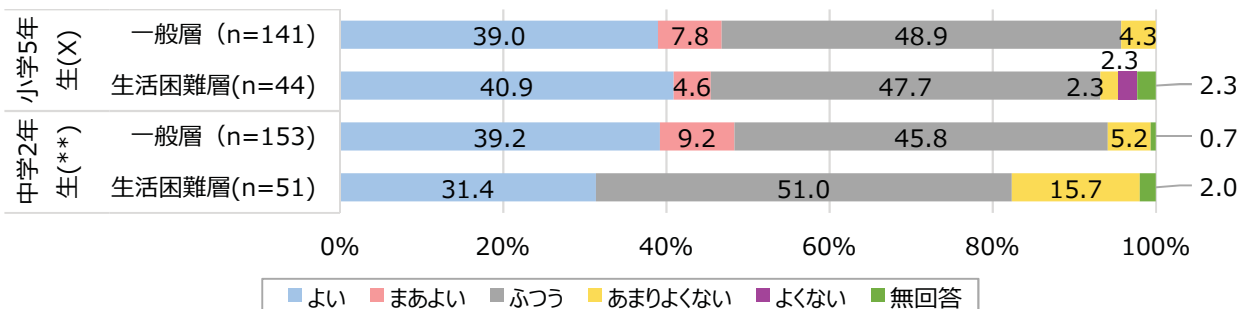
### (1) 保護者の健康状態

母親の健康状態を生活困難度別にみると、困窮層や周辺層で母親の健康状態が悪い傾向がみられ、小学5年生の困窮層の22.5%、中学2年生の困窮層の18.9%の母親が「あまりよくない」、「よくない」と回答しています。

母親の健康状態（小学5年生、中学2年生）：生活困難度別



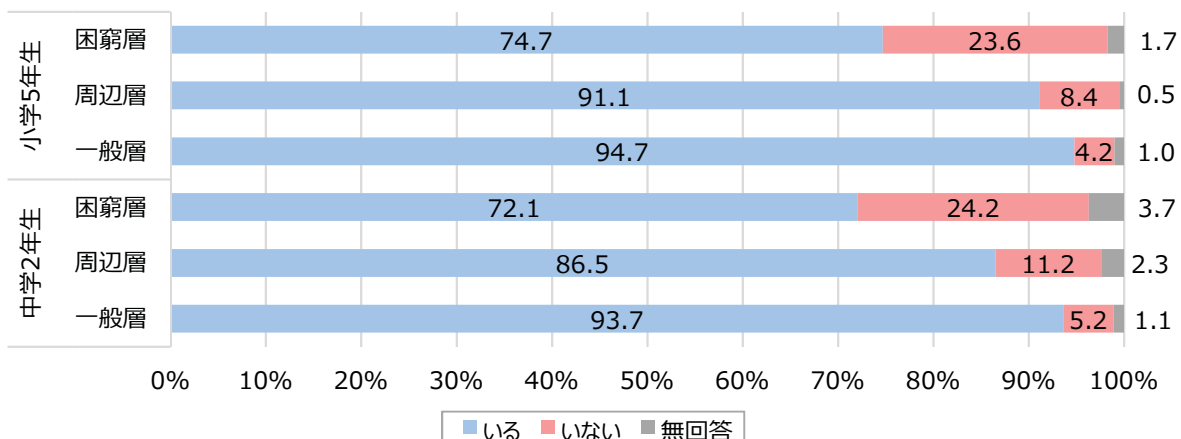
父親の健康状態（小学5年生、中学2年生）：生活困難度別



### (2) 保護者の相談相手

相談相手の有無を生活困難度別にみると、困窮層では、「相談相手がない」と回答した割合が高く、小学5年生の困窮層では23.6%、中学2年生の困窮層では24.2%が、「相談相手がない」と回答しています。

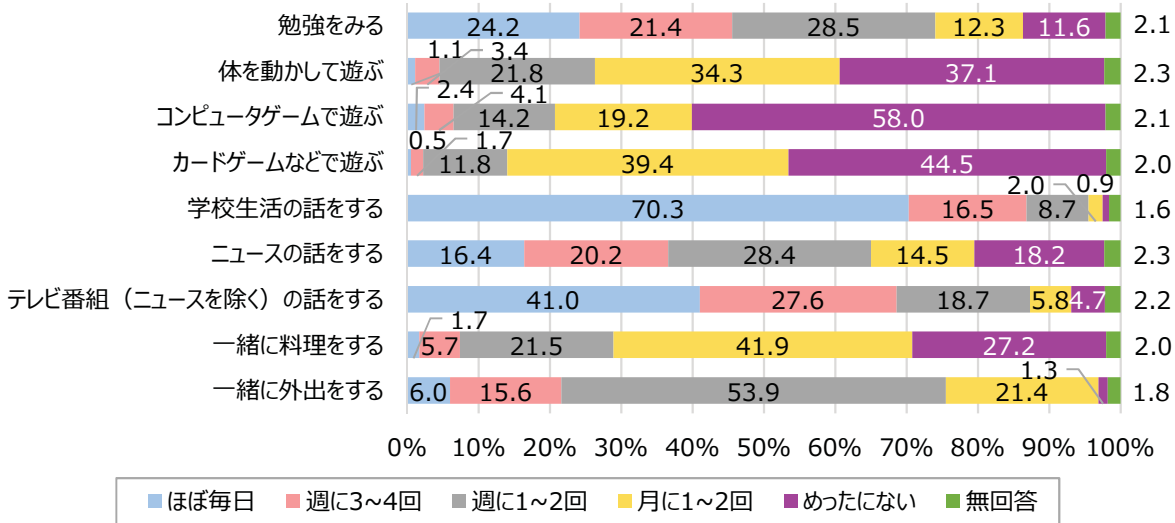
保護者の相談相手の有無（小学5年生、中学2年生）：生活困難度別(\*\*\*)



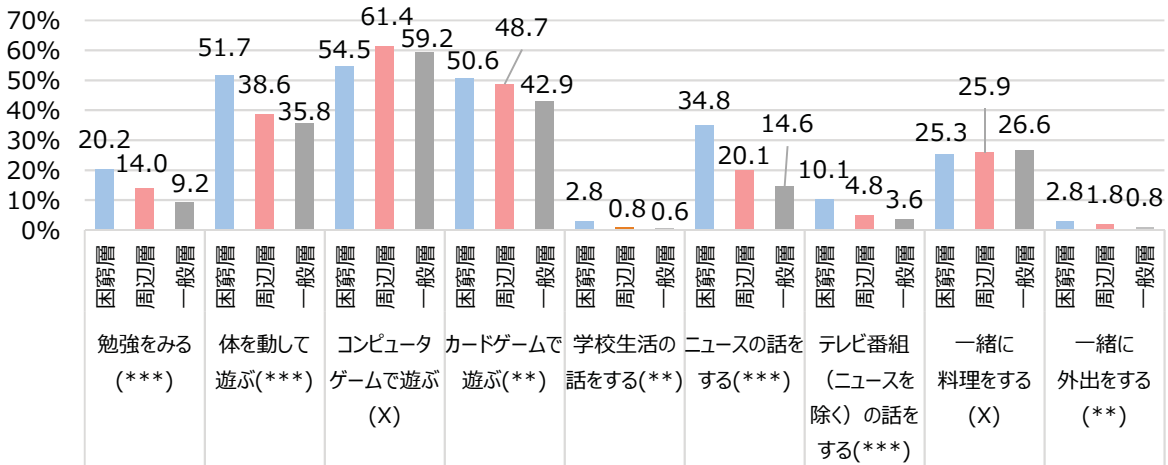
### (3) 子どもと一緒にすること

保護者と子どもが一緒にすることについて、「勉強をみる」、「体を動かして遊ぶ」、「ニュースの話をする」、「テレビ番組（ニュースを除く）の話をする」などにおいて、困窮層では「めったにない」と回答した割合が高くなっています。

子どもと一緒にすること（小学5年生）



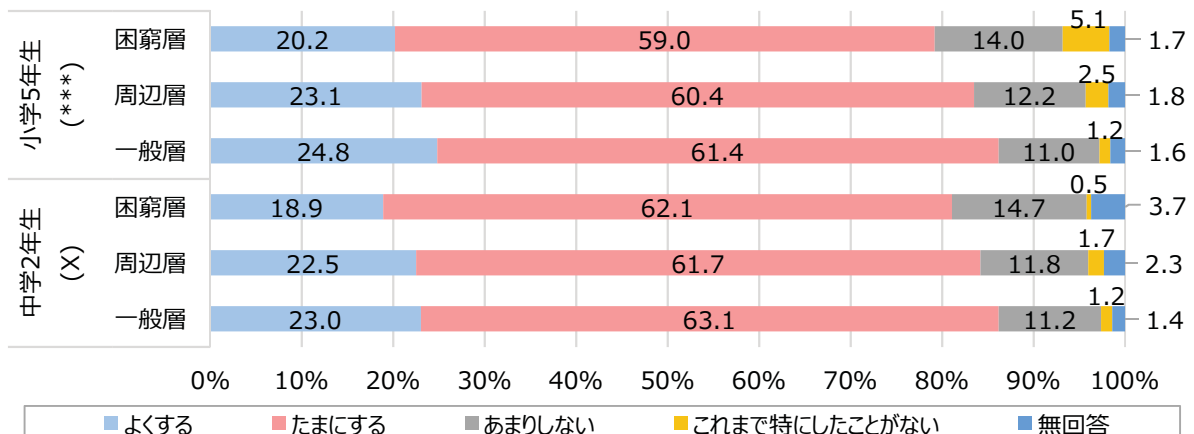
子どもと一緒にすること（「めったにない」の回答割合）（小学5年生）：生活困難度別



### (4) 子どもの将来についての会話

保護者が子どもと将来についての会話をしている頻度について、困窮層ほど「よくする」、「たまにする」と回答した割合が低く、「あまりしない」、「これまで特にしたことがない」と回答した割合が高い傾向にあります。

子どもの将来についての会話（小学5年生、中学2年生）：生活困難度別





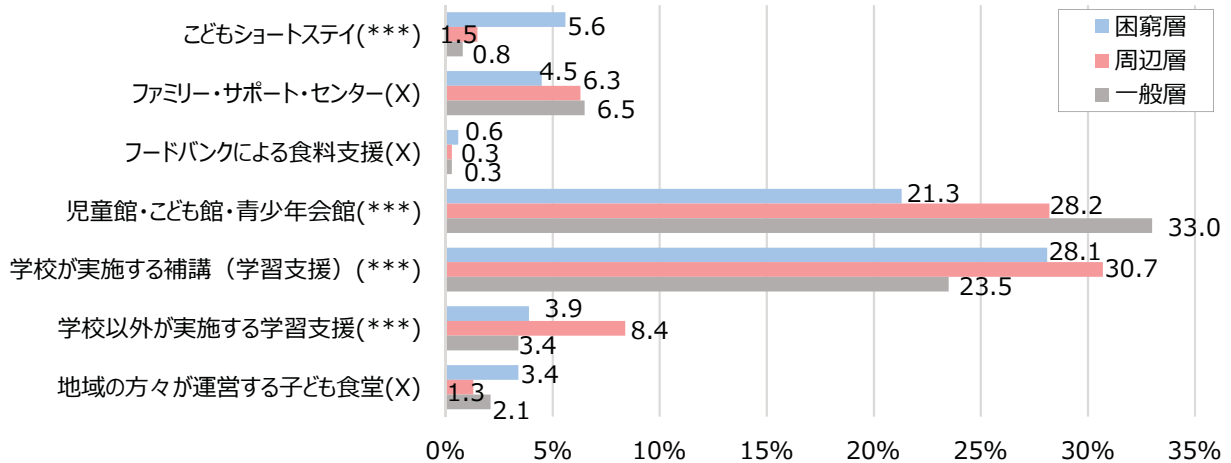
# 6

## 制度・サービスの利用状況

### (1) 子どもを対象とした支援制度の利用

生活困難度別の各支援制度の利用について、「こどもショートステイ」を「利用している」と回答した割合が、小学5年生の世帯では、一般層の0.8%に比べ、困難層では5.6%と高い傾向にあります。

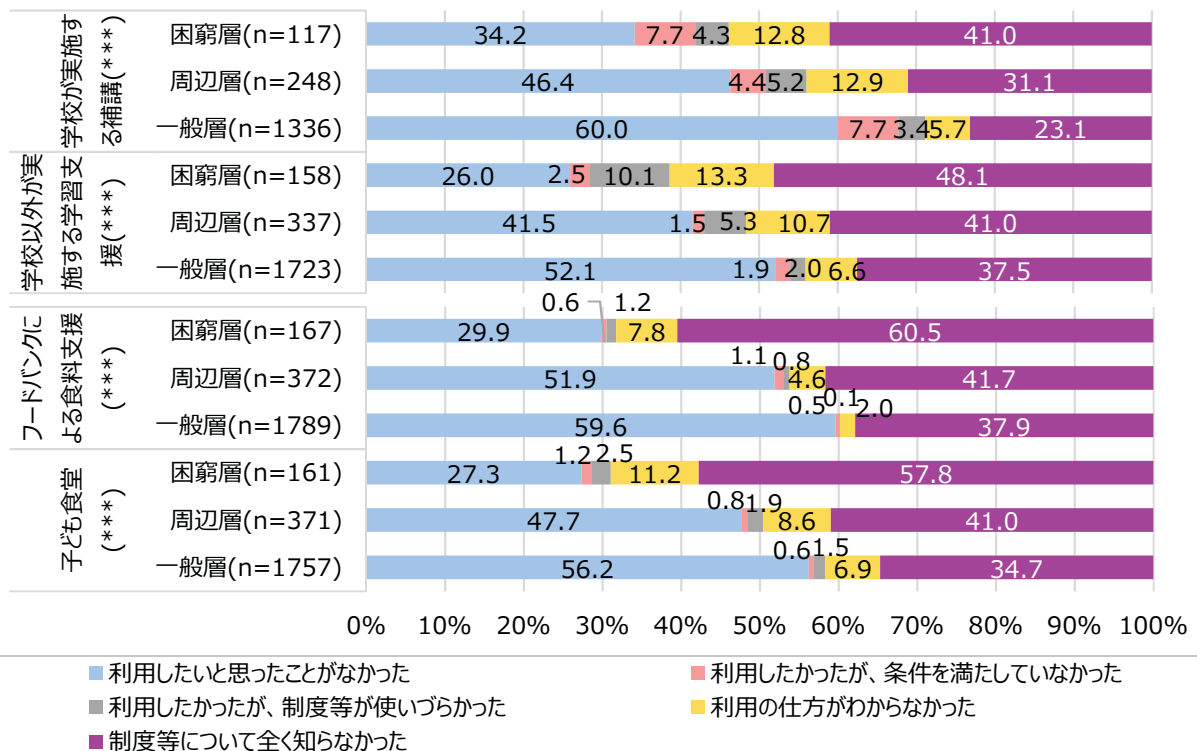
子どもを対象とした支援制度の利用状況（小学5年生）：生活困難度別



### (2) 子どもを対象とした支援制度を利用していない理由

子どもを対象とした支援制度を利用していない理由について、生活困難度別にみると、全ての支援制度において、困窮層ほど、「制度等について全く知らなかった」、「利用の仕方がわからなかった」と回答した割合が高い傾向にあります。

子どもを対象とした支援制度を利用していない理由（小学5年生）



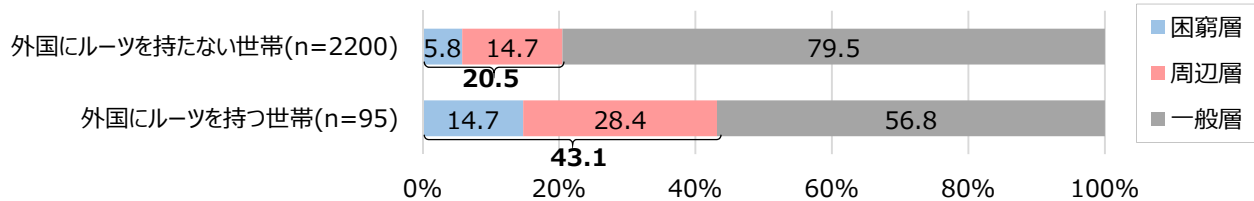
- 利用したいと思ったことがなかった
- 利用したかったが、条件を満たしていなかった
- 利用したかったが、制度等が使いづらかった
- 利用の仕方がわからなかった
- 制度等について全く知らなかった

# 7 外国にルーツを持つ世帯の状況

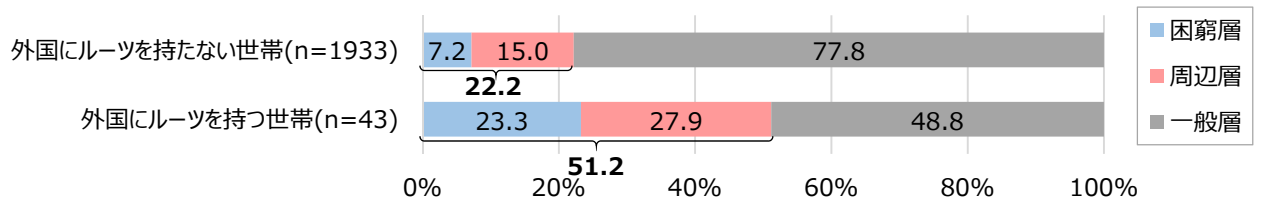
## (1) 外国にルーツを持つ世帯の生活困難層の割合

外国にルーツを持つ世帯の困窮層は、小学5年生で14.7%、中学2年生で23.3%となっています。また周辺層を合わせた生活困難層の割合は、小学5年生で43.1%、中学2年生で51.2%となり、外国にルーツを持たない世帯よりも2倍以上、高い割合となっています。

生活困難層の割合（小学5年生）：外国ルーツの有無別（\*\*\*）



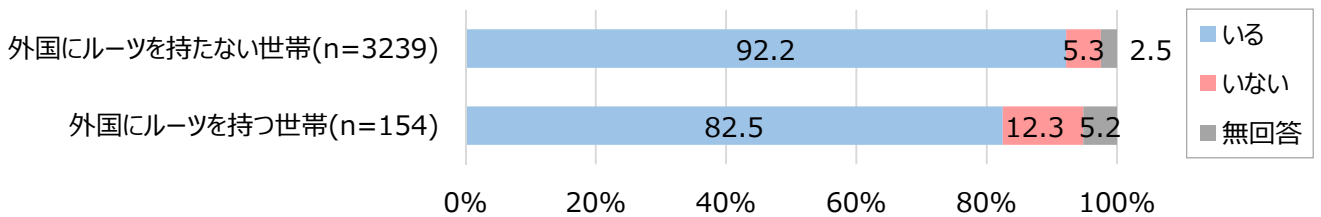
生活困難層の割合（中学2年生）：外国ルーツの有無別（\*\*\*）



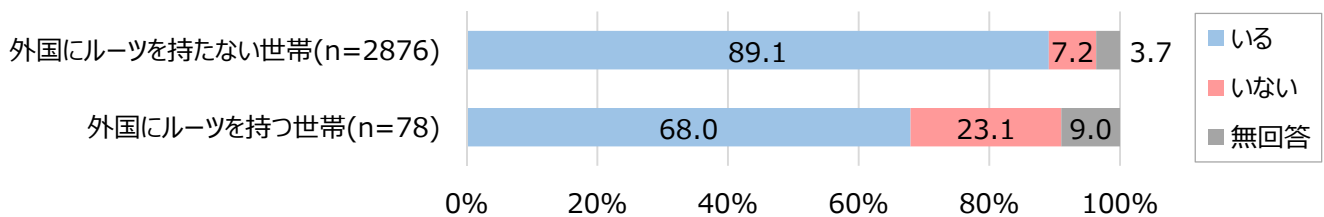
## (2) 外国にルーツを持つ世帯の保護者の相談相手

「相談相手がない」と回答した保護者の割合は、小学5年生、中学2年生ともに、外国にルーツを持つ世帯の方が、2倍以上高くなっています。

相談相手の有無（小学5年生）：外国ルーツの有無別（\*\*\*）



相談相手の有無（中学2年生）：外国ルーツの有無別（\*\*\*）



松戸市子育て世帯生活実態調査報告書（平成30年3月）は、市ホームページで公開しています。

松戸市子育て世帯生活実態調査

検索

【発行】松戸市 子ども部 子ども政策課 子どもの未来応援担当室 TEL：047-366-5181

